

Corporate Data

▶▶ 会社概要

社名	株式会社デジタルハーツホールディングス (DIGITAL HEARTS HOLDINGS Co., Ltd.)
設立	2013年10月1日
資本金	300百万円
発行済株式総数	23,890,800株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード:3676)
グループ会社 (※は関連会社)	株式会社デジタルハーツ DIGITAL HEARTS USA Inc. DIGITAL HEARTS (Shanghai) Co., Ltd. Orgosoft Co., Ltd. 株式会社エイネット DIGITAL HEARTS GNT VIET NAM COMPANY LIMITED Aetas株式会社 株式会社フレイムハーツ 株式会社デジタルハーツネットワークス * 株式会社ZEG
従業員数(連結)	862名



会社概要 (2019年3月31日現在)

▶▶ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日 定時株主総会	毎年3月31日
期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う
公告掲載URL	https://www.digitalhearts-hd.com/

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株主通信

2019年3月期 2018.4.1 ▶ 2019.3.31

✓ デジタルハーツ ホールディングス
証券コード：3676

当社グループの可能性を追求し、 新たな成長ステージへ

代表取締役社長 CEO
玉 塚 元 一



Q 2019年3月期を振り返ってみて いかがでしょうか？

A 当社は、2017年6月以降を「第二創業期」と位置付け、既存事業の深化及び新規事業の大胆な推進に取り組んでおります。特に当期は、飛躍的な成長に向けた事業基盤固めの年として、人材強化やオペレーション体制の抜本的な見直し等を推進して参りました。

詳細はP5-P6 具体的には、主力事業であるエンターテインメント事業において、収益最大化に向け、海外事業の強化やテストセンターであるLab.の業務改革等を推進いたしました。また、現在最も注力しているエンタープライズ事業においては、事業拡大に必要不可欠であるテストエンジニアやセキュリティエキスパートといった専門人材を増強するため、攻めの投資を実施し、受注体制の強化を図って参りました。さらに、他社

とのアライアンスの積極活用により、様々なサービスの拡充を図ることで、強固なビジネスモデルの構築に努めて参りました。

これらの取り組みを推進する中で、「第二創業期」における新たな挑戦に対する確かな手ごたえを実感することができました。その1つが、我々が提供するサービスを求めているお客様が確実にたくさんいらっしゃるということ、2つ目が当社のゲーム好きをはじめとするテストターのポテンシャルの高さです。

実は、エンタープライズ領域においては、我々のようなテスト専門企業が存在しているということ自体がお客様にはまだあまり知られておらず、現在多くの企業が自社内でテストを実施しています。そこで当期、当社の認知度向上や積極的な営業活動に注力した結果、当社の受注キャパシティを超える程のご依頼をいただく

ことができました。お客様のアウトソーシングニーズは確実にある、あとは、我々の事業内容をより多くのお客様に知っていただくと同時に、当社の受注キャパシティを拡大することができれば、必ず大きな成長を遂げることができると確信いたしました。

この受注キャパシティを拡大する上で最も重要なのが、テストエンジニアをはじめとする専門人材の確保・育成になります。当社には、約8,000名の登録テストターが在籍しており、彼らの多くはゲームが好きという理由で入社された方々ですが、その中には非常にITリテラシーが高い方もいらっしゃいます。彼らの潜在的な能力をきちんとみつけて伸ばすこと、これが非常に重要だと考え、当期、テストターの皆さんの能力を伸ばすための様々な教育プログラムを新たに始めました。その結果300名以上のテストターが新たに国内のソフトウェアテスト技術者資格を取得したり、約30名のテストター

がホワイトハッカー候補者として活躍し始めるなど、高い能力を秘めているテストターが私の想像以上に多く在籍していることがわかりました。これまでエンターテインメント領域で活躍してきたメンバーがエンタープライズ領域でも通用する、さらに、このような新しいことに挑戦したいと思ってくれるテストターがたくさんいる。これは当社にとって非常に大きな財産だと考えています。

当期の業績は、売上高19,254百万円(前期比111.0%)、営業利益1,605百万円(前期比92.5%)、経常利益1,651百万円(前期比92.6%)、親会社株主に帰属する当期純利益1,575百万円(前期比131.3%)となりました。残念ながら売上高・営業利益ともに期初計画を下回る結果となりましたが、我々が現在取り組んでいることは決して間違っていないと、徐々にではありますが、その成果も出始めています。今後は、現在の成長戦略をよ

2019年3月期 連結業績

決算のポイント

(百万円)	前期実績	当期実績	
	18/3期	19/3期	前期比
売上高	17,353	19,254	111.0%
営業利益	1,735	1,605	92.5%
経常利益	1,782	1,651	92.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,200	1,575	131.3%

- ▶ エンターテインメント事業・エンタープライズ事業ともに増収を達成し

過去最高の売上高を更新

- ▶ エンタープライズ事業における専門人材をはじめとする攻めの投資を継続

- ▶ 保有株式の売却に伴う特別利益733百万円の計上により

親会社株主に帰属する 当期純利益は増益を達成

りスピードを上げて具現化していけるよう、グループ丸となって事業拡大に取り組んで参ります。

Q 2020年3月期の見通しについて お聞かせください。

A 次期も、これまでの成長戦略に変更はなく、エンターテインメント事業・エンタープライズ事業ともに、過去最高の売上高を目指して参ります。

エンターテインメント事業においては、コンソールゲーム・モバイルゲーム向けのサービスを中心に、開発支援からプロモーション支援まで幅広いサービスをグローバルに展開することで、顧客エンゲージメントの強化に努めて参ります。また、エンタープライズ事業においては、引き続きテストエンジニアをはじめとする専門人材への積極的な投資を継続し、受注体制を強化するとともに、テスト自動化等サービスの付加価値向上を図ること、確固たるポジションの確立に

努めて参ります。

これらの増収効果により、営業利益・経常利益も増益となる見込みです。なお、親会社株主に帰属する当期純利益は、2019年3月期に計上した保有株式の売却に伴う特別利益の反動減により減益となる見込みですが、本影響を除外すると、親会社株主に帰属する当期純利益も増益となる見通しです。

Q 株主の皆様への還元方針について 教えてください。

A 当社はこれまで、株主の皆様への利益還元を経営の重要な課題の一つと考え、継続的かつ安定的な配当を行うとともに、株主の皆様からのご支援に感謝すべく株主優待制度を実施して参りました。しかしながら、将来の持続的成長に向けた内部留保とのバランスも勘案しつつ、コーポレートガバナンス・コードが求める株主平等の観点から、株主の皆様にわかりやすい

還元方針を目指して慎重に検討を重ねた結果、この度、株主優待制度については2019年3月期をもって廃止とし、配当での還元一本化することを決定いたしました。

株主優待制度の廃止を発表して以降、株主の皆様から様々な貴重なご意見をいただいておりますが、引き続き当社では、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要な課題の一つとして位置付けつつ、積極的な成長投資を通じた企業価値の向上に努めて参りますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

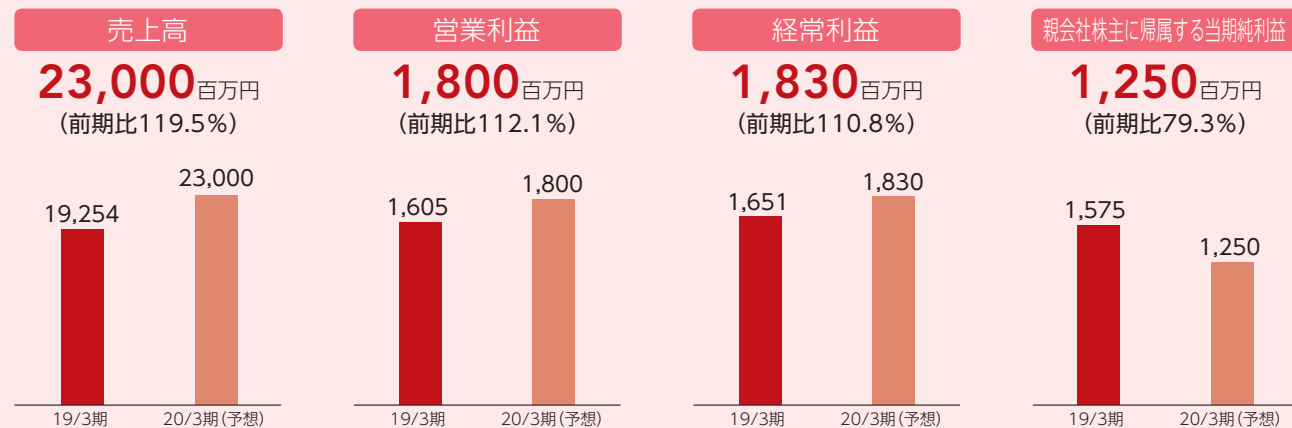
また、従来、純資産配当率(DOE)7%を目途に配当を実施して参りましたが、今後は配当性向20%を下限の目途として配当を実施させていただくよう、配当方針も変更いたしました。 **詳細はP10** この新しい配当方針や株主優待制度廃止に伴う影響等を勘案し、2020年3月期の年間配当金につきまして

は、2019年3月期より1.0円増配の14.0円を予定しております。

Q 株主の皆様へのメッセージを お願いいたします。

A 今後、IoTの進展や次世代通信規格である5Gの実用化等を背景に、当社の収益機会は一変的に拡大すると考えております。これらの成長機会を確実に捉え、飛躍的な成長を遂げるためにも、まさに今、強固な事業基盤を構築する必要があると考えております。まだ、目に見えた成果として現れていない部分もございますが、確実に成長に向けた準備は整いつつあります。今後は、これまで構築してきた土台をもとに、スピードある経営を実行し、「アジアNo.1の総合テスト・ソリューションカンパニー」となれるよう尽力して参りますので、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

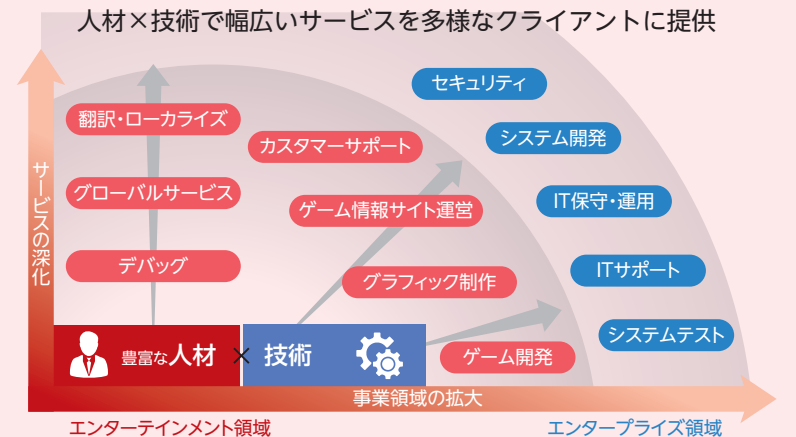
2020年3月期 通期業績予想



株主還元



成長戦略



エンターテインメント 事業



受注体制の強化

テストセンターである
Lab.を2拠点新設

【国内事業拠点】

全国
15拠点へ



海外事業の強化

翻訳・ローカライズに
対応できる外国人登録
テスターを強化

269名体制へ



韓国のOrgosoft Co., Ltd.を子会社化

アジア圏におけるサービス提供体制を強
化することを目的に、韓国でゲームデバ
ッグ、翻訳・ローカライズサービスを提供す
るOrgosoft Co., Ltd.を子会社化

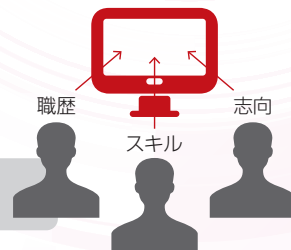


業務効率の改善

社内教育プログラムを拡充

Lab.管理者のマネジメント研修やデバッグのプロフェッショ
ナル研修等を新たに開始し、Lab.の生産性及びサービス品
質の向上に注力

タレントマネジメント
システムの開発に着手



人材育成・人員配置の
効率をアップ

人材育成の促進

ゲームテスターから、
エンタープライズ領域で活躍できる
専門人材へシフト

JSTQB*資格保有者
日本最大規模へ
Foundation Level
(基礎技術者向け) 333名
Advanced Level
(高度技術者向け) 27名

※JSTQB…国内におけるソフトウェア
テスト技術者資格

“テストエンジニア”の育成
を目的にバルテス(株)と業務
提携を締結



セキュリティエキスパートの育成を目指す
“デジタルハーツサイバーブートキャンプ”を開催



エンタープライズ 事業



セキュリティ事業を本格化

サービスの拡充及びセキュリティ人材の強化を推進

セキュリティ人材強化

- セールスチーム
Key Person
米国セキュリティ企業の日本法人等
マネジメント経験豊富なリーダー
- 検査チーム
Key Person
官庁等の検査プロジェクト統括経験を持つ
国内トップ級のホワイトハッカー
- 監視チーム
Key Person
大手セキュリティメーカーからも指名される
監視ビジネスのエキスパート

サービス拡充

人材・技術 強化

新規採用、人材育成、M&Aにより、
テストエンジニアをはじめとする
専門人材を増強

エンジニア合計※

18/3期末 108名 → 19/3期末 200名

※エンジニア合計…テストエンジニア、システムエンジニア、
インフラエンジニアの合計

医療系システムのテストに強い
(株)エイネットを子会社化

+24
名

(株)キープアヘッドから
システム開発事業を譲受

+12
名

ベトナムに拠点を新設

+11
名



エンターテインメント事業

事業環境の変化等の影響を受けつつも
増収増益を達成

売上高

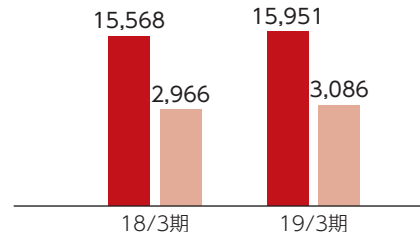
15,951 百万円
(前期比102.5%)

セグメント利益

3,086 百万円
(前期比104.0%)

業績推移

■売上高(百万円)
■セグメント利益(百万円)



デバッグ

ゲームやパチンコ・パチスロの不具合をユーザー目線で
検出し顧客企業に報告するサービスを提供

19/3期のハイライト

- ▶モバイルゲーム向けは前期比110%と高い成長を継続
- ▶パチンコ・パチスロ向けは規制強化の影響等により、前期比48%と大幅に縮小

20/3期の見通し

- ▶シェアの拡大等により、コンソールゲーム・モバイルゲーム向けを中心に伸長する見通し

クリエイティブ

コンテンツ制作におけるクリエイティブ領域全般にわたる
制作サポートサービスを提供

19/3期のハイライト

- ▶ゲーム開発及び2D/3Dグラフィック制作案件を確実に獲得

20/3期の見通し

- ▶さらなる案件獲得に向け、高品質なサービスの提供に注力

メディア及びその他

日本最大級の総合ゲーム情報サイト「4Gamer.net」等の
運営やカスタマーサポートサービスを提供

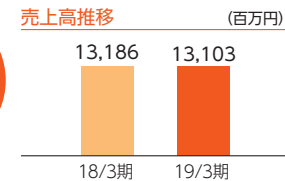
19/3期のハイライト

- ▶総合ゲーム情報サイト「4Gamer.net」は安定的に推移
- ▶18/3期より開始したカスタマーサポートサービスで順調に案件を獲得

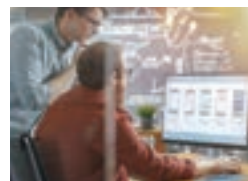
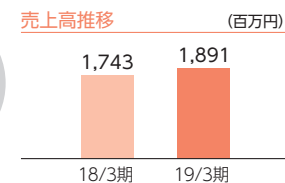
20/3期の見通し

- ▶引き続き「4Gamer.net」を中心に安定的に推移する見通し

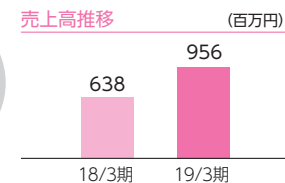
売上高 | **13,103** 百万円 (前期比99.4%)



売上高 | **1,891** 百万円 (前期比108.4%)



売上高 | **956** 百万円 (前期比149.8%)



エンタープライズ事業

テストエンジニアの増強をはじめとする
攻めの投資を実施

売上高

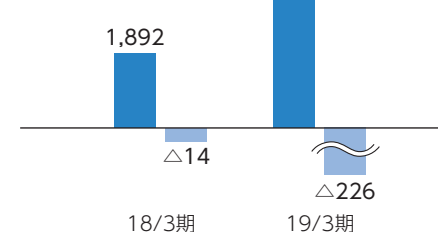
3,302 百万円
(前期比174.5%)

セグメント損失

△**226** 百万円
(前期比 —)

業績推移

■売上高(百万円)
■セグメント損失(百万円)



システムテスト

エンタープライズシステムの不具合を検出する
サービスを提供

19/3期のハイライト

- ▶積極的な営業活動及び受注体制の強化により、大幅増収を達成
- ▶2019年9月より、新たに子会社化した(株)エイネットの売上が貢献

20/3期の見通し

- ▶テストエンジニアの増強を中心とする攻めの投資を継続
- ▶テスト自動化等、サービスの付加価値向上に注力し、案件獲得を加速

ITサービス・セキュリティ

システムの受託開発やITサポート、セキュリティ等の
サービスを提供

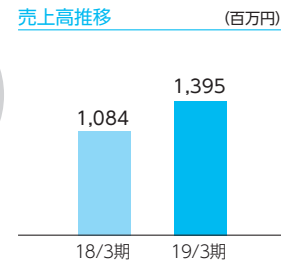
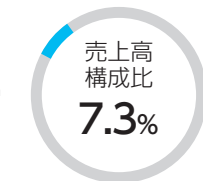
19/3期のハイライト

- ▶中小企業向けのITサポートサービスが好調に推移し、大幅増収を達成
- ▶セキュリティ検査・監視サービスを拡充するとともに、セキュリティエキスパートを増強

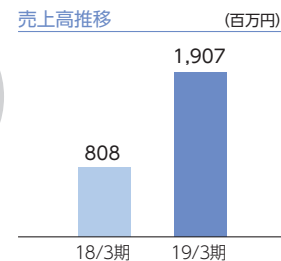
20/3期の見通し

- ▶19/3期に拡充したサービスラインナップをもとに、ITに関する課題を抱える企業を強力支援
- ▶引き続き売上高150%以上の成長を目指す

売上高 | **1,395** 百万円 (前期比128.7%)



売上高 | **1,907** 百万円 (前期比236.0%)



■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	18/3期 前期末	19/3期 当期末
流動資産	6,732	7,403
固定資産	1,842	2,428
資産合計	8,575	9,832
流動負債	3,929	4,192
固定負債	1,075	627
転換社債型新株予約権付社債	1,017	508
負債合計	5,005	4,819
株主資本	3,340	4,763
資本金	300	300
資本剰余金	331	366
利益剰余金	5,113	6,408
自己株式	△2,405	△2,311
その他の包括利益累計額	28	28
新株予約権	—	13
非支配株主持分	200	207
純資産合計	3,570	5,012
負債・純資産合計	8,575	9,832

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	18/3期 前期	19/3期 当期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,436	889
投資活動によるキャッシュ・フロー	△618	62
財務活動によるキャッシュ・フロー	△250	△693
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	564	258
現金及び現金同等物の期首残高	3,344	3,894
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	9
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△15	—
現金及び現金同等物の期末残高	3,894	4,162

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	18/3期 前期	19/3期 当期
売上高	17,353	19,254
売上原価	12,394	13,791
売上総利益	4,958	5,463
販売費及び一般管理費	3,222	3,857
営業利益	1,735	1,605
営業外収益	57	109
営業外費用	10	63
経常利益	1,782	1,651
特別利益	2	733
特別損失	151	51
税金等調整前当期純利益	1,632	2,333
法人税等	503	745
当期純利益	1,129	1,587
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△70	12
親会社株主に帰属する当期純利益	1,200	1,575

詳しい財務情報を知りたい方は

ホームページのご紹介

当社のホームページでは、投資家の皆様向けの情報をはじめ、事業内容や最新のニュースなど、さまざまな情報を公開しています。

▶ <https://www.digitalhearts-hd.com/>

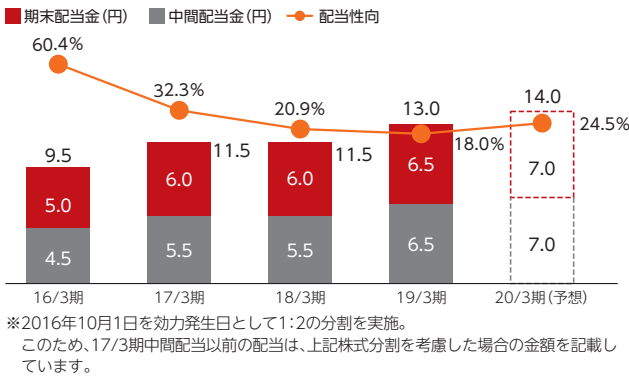


前期比1.5円の増配を実施、次期も1.0円の増配を予想

当社は、株主の皆様への継続的かつ安定的な利益還元を経営の重要な課題の一つとして位置付け、連結業績等を総合的に勘案しながら配当を実施いたします。

2019年3月期の年間配当金につきましては、13.0円とさせていただき、2020年3月期につきましては、前期より1.0円増額の14.0円を予定しております。

▶ 配当金・配当性向の推移



▶ 株主還元方針の変更

19/3期以前
DOE7%を目途に連結業績に準じて安定的な配当を実施
さらに、毎年3月末現在の株主の皆様には**株主優待**を実施

20/3期以降
配当性向20%を下限に連結業績に準じて安定的な配当を実施
また、株主平等の観点から**株主優待制度を廃止**

Stock Information / 株式の状況(2019年3月31日現在)

▶ 株式の状況

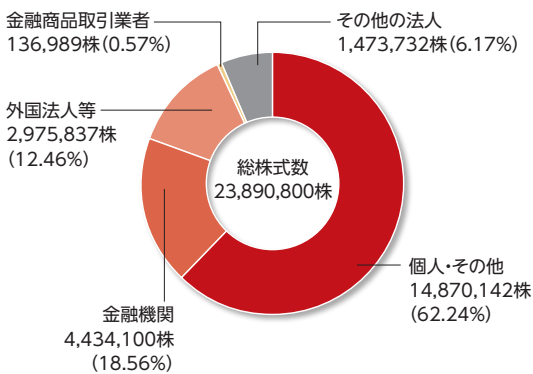
発行可能株式総数 76,800,000株
発行済株式の総数 23,890,800株 (自己株式2,016,206株を含みます。)
株主数 8,962名

■ 大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
宮澤栄一	7,037,189	32.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,304,000	15.10
A-1合同会社	1,324,900	6.05
A&G共創投資第1号投資事業有限責任組合	1,095,983	5.01
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST, BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS - UNITED KINGDOM	729,700	3.33

(注) 1. 当社は、自己株式2,016,206株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

▶ 所有者別株式分布状況



※「個人・その他」には自己名義株式2,016,206株(8.44%)を含んでおります。